～よつ葉薬局～

☆所在地：東京都

☆実習時期：Ⅰ期

☆指導薬剤師名：笠原　徳子

★Smart Tablet★

施設概要

・主に応需する施設・診療科：武蔵国分寺公園クリニック、にんじん健康ひろば、内科、小児科

・薬剤師数：６名
・他職員：管理栄養士1名,ハーバルセラピスト1名

・医療用医薬品数：約９００品目
ジェネリック医薬品の割合：約４０％
OTC薬の数：６種類

・１日の平均処方箋枚数：約３０枚

実習を通して特に理解できた/印象に残ったSBOsとその内容

- P510-10:麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる。

  地域薬剤師の活動として、中学生への啓発活動を行いました。テーマは薬物乱用で、麻薬ついてお話させていただきました。薬学生として薬学的知識に基づき麻薬の恐ろしさを話すことができ、とても良い経験になりました。

- P502-3:薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う。（態度）

  実際に居宅訪問に行き患者さんとふれあうことで、より患者さんを身近に感じることができた。また、居宅において薬剤師が必要とされていることを実感しました。

- P509-9:地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる。

  サイエンスカフェを通じて地域の方々とのつながりや、薬局が情報提供する場所であるという事がとてもよく理解できました。

改善点・要望および反省点など

- 服薬支援において、あまり多くの患者さんの対応が出来なかったのが残念です。

実習を通して特に理解できた/印象に残った症例

～医師からの問い合わせ～

- 患者：１歳４ヶ月男性（身長：７５cm体重：９．８kg）
- 現病歴：２０１２年6月２７日、発熱、中耳炎と診断。
- プロブレム：クラバモックスとビオフェルミンＲ散の水剤混合の可否。
- 目標：乳酸菌の腸への到達し、抗生物質による下痢を防止すること。

- S：飲む薬が多くなると患者さんにとって負担になる。少しでも負担を減らすためにクラバモックスとビオフェルミンR散を水剤混合できないか。

- O：クラバモックスドライシロップ20％
  1回0．5g（1日1．01g） 1日2回 朝、夕食直前
  ビオフェルミンR散10％
  1回0．5g（1日1．0g） 1日2回 朝、夕食直前

- O: ビオフェルミンR散と抗生物質を水剤混合すると乳酸菌が死滅。
  参考文献：各種乳酸菌製剤の抗生物質感受性について
  http://www.janiigata.sakura.ne.jp/JMNK/08-1/110.pdf

- A：SとOより、2剤を水剤混合するのは厳しい。

- P：医師へ報告。
  クラバモックスのみ水剤とし、ビオフェルミンR散はその都度混合してもらう、または散剤のまま2剤を混合して1回分ずつ分包し、その都度溶かして飲んでもらう方法を提案した。

- 問い合わせに対して、実際に服薬情報提供書を作成して提出したのですが、実際にエビデンスのある情報を探して問い合わせをするというのは患者さんのＱＯＬ向上において大切であると感じました。

- 今回の薬局実習で、今まで自分の中で想像していた薬局のイメージと大きく異なっていたのでとても驚きました。薬局といったら薬をピッキングして鑑査して渡してそれでおしまい。という、ただの作業的なものだと思っていました。
- しかし、薬局実習で実際にこちらの薬局に来てみると、患者さんのハッピーを考えた服薬支援、地域を意識した多職種間連携、そして居宅療養支援など地域や人とのつながりを大切にするといった理念をもって行っていることに驚きました。
- 今回の薬局実習で学んだ多くの経験が今後の糧になれば良いと思います。

ご清聴ありがとうございます。

- 小児喘息
- クラバモックス＋ビオフェルミンR混合（服薬情報提供書）
- Soapマスターファイル
- 居宅訪問
- 漢方薬局
- 老健
- ひかり診療所
- 疑義照会実態調査
- 服薬情報提供書
- 自己注射
- 薬物乱用
- サイエンスカフェ
- 学校薬剤師
- スポーツファーマシスト